續

資

治

通

鑑

**%** 括 所 歸 **資治通鑑べ卷一百六十二** 帝 試於 居天 市

副 金 月甲二 赫舍蒙 帥 要 申 将 朔 略 日有食之 可 丙 盡 申 被 西 援棋 加加里地 此報 **决於於** 震 一 蒙古人 國東一辰史彌遠等上 無思 進 南 今石 南 改孤 金 歸 官等 何: 如宰 |吏 罺 兵民 一孝宗 官職御 臣莫 城 饷道 籔 i

實爾 千岡 '能 世古能 撫 達 餘 綱 決 綱 个铜守安塔蓝级率 樞心從如山東今伦綱 祝密巴 己 鑑金菜取不文版以南院 議 兄數 |史東 矣 以| 則 卷 百六十 <u>\_</u> 皇事移移 華城秃伦監省以險 規 將 排門治 命 建今晚軍 福金里中行改图王畫為州史傳州分省邀庭軍主 觀則與于 其 於 擊 玉 下 整 工 以 是 城 府 下 黄 顶 月 版 金 以 第 斯 黄 食 金 中資不 嚴 薩 七 陵 不 為

全子 至孫和 師生養子 

喜生處遠在稅保 貧 台 通過 色 也 一百六十二 

臣於日正及以書牌王十子名 不片習且從傳朱古也於行歲 為姦惑 行意大二帝到

台道監 を一ゴ六十二 Ч

軍來 副總 碹 報 領高 鐵 秋 心濟難 燄 七 捌 罷 1 遣 金義 紃 **向蒙古綱件** 勇軍饭據陽中 **秋**數 端誤 訓 力進 团 車 使 使 討 水 兼 城

衝之風故金人 乏 總制司為 **對治通鑑 《卷一百六十二** 以為名言守襄漢, 兵革盜並起立嚴 金賈證謙建言外之形勢惟恃 使強方卒方生 **渡是月金主渝櫃密院已** 一家許國之心應變之略隱然有 八南侵淮蜀大 十年以 河禁以備不虞凡自北 、盆忠定配定 職為守合官民兵為 困而京西獨全旣歿 死 五 仓貧 仐 皆

學再制 靈宫庚 ·月復滄州 甲申金 **省飲容少** 一種重一 命尚書 甲寅復 概的決以 幸卯 处以為大定故實 就 地於明堂 门無 有的 定開監察 渡 出 朝 諭

以見汝主即其禮也也 改帥松會之瑪爾在 於而自將攻級德破馬 帥 台鱼监 金將王公佐遁穆呼哩以石石門內所將所與所兵五萬屬馬至是與一件解於於監府等宴穆呼哩於 後一百大十二 **吟與納遊** 被馬蹄克戎兩寨 布問穆 瑪爾 滕 呼興相見 引兵 天應權行 呼 遭 金 河 馬而 瑪爾 敢

堅淚茶 졭 千餘 白東 伏乘其 哈達 妆 消陽水 人 後 鼓 就 震 表 天 金 兵 -河軍 後鼓鼙震天 呼哩 **吟里见金兵佯** 中國之而自將兵徇即 便 以 之 花舊 穆 亂 即坊等 呼 企 哩 一亦 以城 追 州 追 東 邳

としている。「「「「「「「「「「」」」」 さ | 俟明年 **徽歸亳壽頫停閣逋戶租外仍蠲三之** 蠲徐邳宿泗等州逋租官吏有能墾嗣別田除來 心武夫 綱言宿州連年饑饉加之 募民承業禁其毀 夏秋收成徵還軍人可量 不識緩急乃至於 《屏有甚於官百姓不勝其酷 · 薦國殤知鎮江府喬行 既併將漣水忠義證騎! 損以俟來復 此論 重放百姓 增廩給辛丑金 切所負並令 1 **逋戶田置** 張林

能 俘 貨 恣 取 鹽 計仰六牌社 fi 尤 耳 貨 重南貨價 師府 分之自 往褚 大 鹽 其黨李馬 1 郡貿易車夫皆 推轉 場 哩 場稲恃弟有恩 使世 凶 悠 心日若背 倍全 兒 達 山東 誘 舟楫之 守之為 西 商 报恩 州 東 辦 略 林 耶 府宅 又具車 証 至 逐 り場山、 典 張 林 月庚 林 쓮 凶 瓦 市

我受國家厚恩二十餘年今有死而已穆呼聖義之欲鄉參等司 閏月率已削以宣繪兼參知政事 蒙古攻金鄜州節度使完顏祿錦香戶 在一个都統赫舍型總壽高察洛索舊於結察皆死之時石學不敗事能之為傻辛未罷行總管府及招討統軍檢學不敗事能之為傻辛未罷行總管府及招討統軍檢學不敗事能之為傻辛未罷行總管府及招討統軍檢學不敗事能之為傻辛未罷行總管府及招討統軍檢 軍樞 通 鑑べ必 居皆選材勇力 一百六十二 之開動相矛

見當思今日 大教賈
西
京
京
京
京
市
大
教
賈
市
で
の
大
教
の
で
の
大
教
の
で
の
大
か
の
で
の
大
か
の
に
の
の
に
の
に
の
の
に
の
に
の
の
に
の
に
の
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の
に
の 討寅 以康 己 西金 等罗 全該 以下西域玉龍哈實施土及皇子卓心猶俗水祭罕台工及皇子卓心猶俗水祭罕台企與是追與定寶泉母一貫當通金與定貨泉母一貫當通 前 窗太元 爾 望 先 和 龙 和 龙 和 龙 和 龙 和 龙 和 龙 京門天意隱而難知人士 起智朝宗得璽獻于朝年 起智朝宗得璽獻于朝年 起智典大神 可答天 之事初之。初一次。 赤伦台曹寶 今玉今伦 四 而質釐 改龍改祭 百 合貫 敚

忠孝公家之利知無不為實 盆 安巴圖魯道 新成勒住舊伦上言目伏見知處延安被圍發請三兵故也陝 資治通鑑 人 & 一百六十二 世封 田 將 金 修調 行省參知 師官 巴圖魯改知 被紅襖 兵城賴 吏 攻事巴 心也陝 河中 · 朝廷之 以完 午金遣官墾種京東西 河 圖魯雅 孤輪路四西 垃圾 的中府巴圖 **心良臣也** 為無功今哈達 圖 夘河 瓜勒 南府

辰金 完 克可舊 題強 恆州 子明 河南 理變萬戶呼延被等十餘人毀完, "上以歲幣既忍,上,所稱傾而識體要攻注疏而辨異同從之一上以歲幣既忍」,一月祕書即何》 个伦 金 改能 主 師翰林問 安矣不報 副之 師府 一月丁巳赈江西衛制三路軍馬 等一 餘人 般 掠城中 焚 廬 台 郎何澹言有 早傷 戊

賈貧台通監 8一百六十二 事之 以夏 摘主將曩 射彼 |泰和舉天 同也 觀之 則 涸 而陸多 问 浴徒 全力 害無悅 我 不暇今乃陷吾城 日马箭之手在西邊 如彼 驅 如 兒泰和之 夏則 前 今日悔我 ٤ 鄊 哉 為前鋒今能之乎 願 而不 如此 而物 陛 者 切降 此地 則搏 知今 以 臣 上敗吾軍 (時之 利之 省 此

卿丞京東西 防禦使 故貶 假御 縣 四 固始 月 可學也高 路置行 史劾之有司以監主 不能與時 一縣破廬 额爾克時全等 金置 印金右至 癸 司 西金提控李 大 礪 低 竝 司農司 丞圖克坦思忠 訪事 自盜論 忠兵 固相位 師林坡 設大 男子 司農 死 卿

若值暴地 雨淮果 鼓琴史彌遠買美人善鼓琴公兹為濟國公以沂王嗣子 稱密詔諸軍且畱收淮南麥 全罪誅之 輕舟 鑑然卷一百六十二 猴朱乘其後將不得完歸矣全上 濟士卒皆覆沒金之兵財由是 額爾克 乃為橋 日額爾克 知書慧點城發之 庚戌. 太白晝見 工嗣子貴 一渡南軍襲之全兵 網全日今准水淺狹可 逐下令人獲 É 兹而 邵 拒之 敗 以此給

遂案州則 日 遠配心遠于八不用 至當也日 非 訪日旣花 新 日 湖遠 知 朱之楊姦恩雜 真 史姦后待新議 則 湖成日大海 碎 之 逮 廢富字王 聞 日當 立竄或在新 地 之 之之扣邸, 恩 上共新 因 说饰 它

直発台重監 ターゴットニ 吾與君皆族矣清之日不敢乃以清之兼魏惠憲王座即君座也然言出于彌遠之口入于君之耳一語 學錄鄉清之登慧日關屏 **近即者甚賢今欲擇謝官君其善訓導之** )賢 要 僕 不能 數 然 以斷之日不凡一熟要竟何如

城 意 前 911 言進 金主 臣經 月 敕 金戊寅 練 及 朔 赦 躰 **灰陳州防禦使马** 馬而去 事當邀 院 據 日前平章胥 聽 兪 خ **沙運陝 恆糧 由** 壬戌 符本 知濟南 古兵屯 羽坐 由 瑀追 炭 L乏 買 試謙等 軍 遣 侍官 渡 典

育台通鑑 力實 豆恐 處 才兼将相 可 **單弱且不相統** 測也樞府再檄[ 測也樞 置 人心 |今已盛 金 以為 名一百六十二 威里甚隆 付重 場公郭 複 《舉棄河北甚》 巨星 向行省 合 保府 不暇朝 河 判 東 也 樂為 近不即 令 民 用 政 遣 號

改令月伦定舊 振 今僧住伦 等 胡 從青个蒲 救 陽 元龍 改察 冀 火堡 監 伦 盂 さ 拒守勢甚 猛 呼天王平 岩 制之 堡 境黑伦和 傳被 盥 開 東 繁执 肇 三 城條辰丁俱降桃盘七在執 里 **生** 不 詔 張月十 天 開復 穆 黨公張 趱 進 呼 理介昂古 紫姆 神將富察 敗辰州 開 紅. 之 郭 關 賊 赤伦天金珠文

台通鑑珍を一百六十二 巡 金 凹 帥 下何時定 巴 復 圖 則 雕平 魯 為參 何 贼 府 贼 耶 知政事 公伊 何 甲 河南秦鞏 直將易主 申金以彗 可息 逃穆 喇重嘉努 **司農旣** 對 朕 固省之 調 星 盗 ン 日卿 自今 多由賦 圓 頃為 魯 我 Mi

攻之 吉珪 星沒辛 鎮為 院事 堌 知 降 4/// 吏部 殘破金人 辛亥以宜絹參知 貞 所 古政 、白畫 於 薛極賜出 一件心案僑治以 癸未金 見 王庭 攻事 張惠 密院 程 壁 事

哩等傳感節 非 哩 权 頃 之 之樞 怒 密院遣 穆野 ●從帥太管元史 人來議古印 元守祖軍光侯 天 呼 史之紀河二小 應 理 本與六中年权 權 調 卷元字祖軍允侯天 平界大中年权權 間 古紀 整 名 為 正 尊 行 之 都 平 九 月 以 臺 日 元 百六十二 兵事 軍处 月月元河 平河 帥 石金事兵中陽中石权 河前下之 太 為 天 中後河路 原河應 城 會感練路 還來互中為吉東自 激先 附異府十 隰 以惟元二等 郡 州 石樓史月 帥 擇 謁 城 遂 力 陷 呼石事 並 將 鷹凰天宣 受

駐佐 **小立若發國書令了** 十萬古在河南 規 瀩 双 70之地北接 炒等 第間 **马** 天 有 陝渚 後生輩立功名死 夏 . 乃 良 州 止 派 北 皆 金 軍 に 地館的則關內可以 你分晉西連同連河地鄉鄉的甚難河中地 通所 屯 **丙可**地 難河中 即延今即已平 瞑 且 F 民河 耳 新 雖且 國家之 迫 附 於 鎮

固 华 

教使 防 郑 制 公府事 族 曰 可删 走 同 : か 製 時 蒯 夘 那 延 有丁戰多 企 但 バルが事 功 主 知官 渝 前 近 漏 可以得 為保寧軍節之 传局日 置 日為講 穆 移 吗 全官齊買 **参其** 論 心寧知騎之 自 御 金 將 職 涉 覆 軍 臣父 皆 軍 止 少年 權 将 之 路 之 及

免 約 台 呼圖 置海 団 古金 遁 侍遣 古太元穆祖光 伦 呼與 以 一百六十二 之 回 十二死 喇 戦 自 申 今金盏伦 顏

中即持弓 略以便 稅若被 2 一個人 3 近 日 東 城守 斌 何坐 斌平 撒 斌為 誷 時發 餘 通遠軍節度使 將 力前攻土 齊客指 日吾奉命專 伺液 而斃蒙不甲不 坐 不被 胡 日 能射之 掩處 安 古為之 个 所 也 鳳 耿

抵 後 伏 天 少<u>那</u>渡河天應 八應倉卒 排職 印性死 可也 网 谷別戒公金族小 深 而不天 公 虹 過光傳弈 半误伦山急深及案 椎 引 1 mi 小 目积 吳 城 权 以而深 登 見 來 淡 焚 联 爾攻 樓 个 我 消 同 午列事或梅直其

孫此酉 從日臣十分 令 南山兵 思諫 例有丁足矣哉 來率哉 兵 蒙 昌敦 11] F 宏 本河 群 人 135 紀中 美卿 年於 已灰正元 伸 四 進 城 李额不成中 圍相 話。應 仁丽孝 金呼剂1. 旨 急及智克也 浓期季 諭 さ 忠慎。即 何 JC 权三整

用尚書名 得 版 欲 追 汪 和 除大罪 E 集談 将渡 東月以路成局 河橋 心不正 徒 一百六十二 即東丁 追 者管 大门 有武 舣 以 柜 所 甲 己亚斯全 寅 **寅那己** 那那 心 主 德 衝 餘 詂 調 秀王者 二月 來 gi. 秋 量才 師 可舊 1進馬 था, था

N 在改溫射 恨 家助 根 成大 業 選 提 · 募 勇 敢 收 夜 克 斯 為 難 得 然 改博 汝 制 執 篤 哪 鈊 勒勉 亚召 四共第合 之程 严 東之 伦 東 連 東 遊 東 遊 東 流 雅 葉 変 西 介 伦 古 殺金 齊拉 討無復 改幣 智 目 祁 所老伦 經

愈 傾 金 復 夏 汝 士蔣重 主問字 四 重 薊 及洪 對 宵 執 嘉權 珍 酉 洞 以 計 削 丙 置金主 修 午金貨 下 五. 復 縣 一百六十二 夘 完 震樽事 百四十 政 J E 河 汾 金 中府 四 高汝 所居之 省 縣 及 河中 赒 榮 及 Лī. 與史 第 州 言 月 籔 所 干 身 卯前 戊 申 銀 圖復 赐 金 行 乙 醴 河 卯

軍必請 稙 那 帳前亦願 水 副 永高友統 以 自 鎮江兵而 词 随 隸 涉 赤伦 五千屯城 帳前忠 初 未能 全可宴磨 合也 制 城 西 義乃 及涉车邱 酣 忠 使 將 召涉 帳前忠義 達 帳前 噶齊 域 摲 將 猶 定

從之 帥 池 也 将 府時 不悟 朝 資冶通 企 金蒙 初 夏 乃合帳前忠義 州 金 人攻 縣多 完 洲 額 間 卷 殘破金 金遣 伯嘉卒甲 金 積 酉 一百六十二 **这合** 嚴 同 招 爽已 州 郑 樞 釈 能 金主 嚴 已金遣 院事程卓本 過 **徙郭文** 一命罷 隸 削 浜守 林從蒙古網 河中行省 州 振於孟 從 王 左經 衞 解 秋 州 鹽

胆 包 德 牙背 前 廟 有 勁 都 統 り 免罪仂 許 辛亥以太平 陸 納 尴 史 復其城 渝遺 丞| 州金 進合 淮 東 師 之 州 院 石 大 么 水 而敗飲 帥赫 月庚 mi 夘 之

樂 初 賣食台通 召 二子學後 夫人 安寝間 一帳怨 監察的一百六十二 事 麗氏以 戊巳 卿 FE 金 問 主疾革 **赊狡機慧常以** 币 **死夫** 卒 見 训 人秘之 時已葬夜 急召 寅金主 主知 印給 タ皇 可 沂 殂. ) 肚背 Ē 記 一后及貨 調

破 采 罪 m 未及者 罪 取 便 遊 者 伦史 改 蓝 並 衞 移伦 知 悉大 刺移 Z 赤 赦 坐 遭 人不刺 **土** 版 海 流 流 流 流 流 流 流 流 流 之 . ]ii] [5/: 罪 部 花蒲 遵 日 今阿 棠 純 旅 改元 役 國 jik 集 育軍 家 兵攻 有 近 本 皇 夏國條 之局 東宮 夏 m 定 剖 利 餘 害 制 即 親 有有 位. 邈 雖 遵: 衞 還 東 **愛柩華** 於前門 滥 項 司 虹 往 沦 時宜 枚 諷 往 伊 國 無 以 欲 喇 情|行|詔|既| 布 p

河為州 いして ·國而莫敢 · 有司給道 吏 言至是 部侍郎 起 Š 要 身 一手ドドニ 為宜 住伦 宗 颐 後 相 贼 也質馬 之 復 目 金 此别知 刻

浴治人 吾哭 衣堂 ゾ山 民遺 芝 派 直 企 門 天 -北野 純 將門 癸己識 為 区江 狭 膊 君 哭 台 \*1: |11 而外性近近 之則 一門非笑哭 金主不許 吾野 參判院 金有男子 政 笑 親 日 將 府 近

相

金期 完 來 伯 聖 見我移 起復州 顏哈達職 后 王守 太 移 州節度使 純 后 2 日汝 或告其謀不軌下獄議已決金主言於禦有功權參知政事行尚書省於京兆 禦 至吾不見汝矣金主起太永皇嗣又絕何為欲效之 卷一百六十二 L 護 致仕張行信為左 治蜀將士輯 兄 赤 政事行尚書 何以歲言欲害之章宗 宗 一丞以延安帥 於 那 五 陵 放出 郑 甲寅 臣

巴 附 驳 伦 毴 為 平gp 俗之 戦 政 東 版 金 權參政 事参知 洞 郡 費 州 畿 癸 圖 訊 政事 gp 陳 亚 金 月戊 訴 坦 戊 圖 贝 申 以 四 戌 金 李 詔 金 人忠 尉 忻 章 政 使 金 部 卯 以 事 斌 鎖

心今不答 節度使 子台自监区 豫 被水貧民 史 與 彌遠遣鄉清之往 州為蒙 不應 母杠 清 グートファニ 則 國 清之日丞 平亥命师 古史 公閏月丁酉 倪 相以 何以 沂王 尚嗣 所 湖 清之 收 遠 州 秀 從遊人故使工 相與歎 相 秋 之 七 貲 万两战帝 始拱手 腹

不意非立於競觀之方夜。事在之七 立 也先后是王驾短龍 七 自 書韓項政 之一个有特后乘夫無姬往一后 別言上異 滿 從廢議意怒人所數 返 后 無然崩束 變 宋储甚甚誤簪不人 后一不 左金是南 必 史之正怒碑之至殊 終 可 設升以紀罗 曰 个之兩間 名 生谷共巴共工不不 則 等後有花成日能許 呈 關進遠云 乃 乃廢及其內容憲文 子之則為軍 氏 | 拜 奪儲吳夫宴事聖墨 竑 彌 献宗二 無泣於之再屬后入太癸九 噍 日 州意人和以禁后至 帝 遣 矣萊 類內遠據禁壓水中之雜所皇爾史 外 之宋中未品必姬識 立 后 遠相 陷 軍 權火遂幾雙訴孫云 豈 兄 之 民 勢川常王蓮之也濟敢 子 姦進 然 皆不關言與花楊性王擅 谷 惡金宝 良巴能遠降火一后區大變石宋丹 歸堅初花質技具矩人谷以 心持謀之有命言忌吳、等 荷耳廢事小王王王氏一一立

帷 育台重監察。第一年とドニ 制前當 門禁衛 時聞帝 行過其 影 至極前舉哀畢然後召竑站聞命即 的 震守之遂召 日今 入宫 崩跋足俟宣 拒其從者 此宣 而 見后后 日之事我豈當 制後 御座 非萬 彌遠亦引站 台召人 村其背 )而摊 則 乃即位 百官立 昀 而 班聽 日汝 **至** 狂. 徑 **今為吾子矣** 乃屬 寫 柩前舉哀 過 然 天與不 班震 制 赴 則 紿 引站 至則存 知為 番 之 至 槲 弓 畫 誰 遠 過

朱奉仰寧未喬元韓皇竑贊 朝成國當城废進太為 並 請 為 府 原之 解 封 后 顯也則西不妨,垂 謨 彌城充為 鎌 遠宋史濟同 寧國 即學 郎 老曲近之東宫 程士儒於之位野中 行现及儿童年品品等到李即中記之徒被發三島部 自府 起 意制出陵年 俱佛如此制纸器

入對勸帝容受直言召用賢 小與芮嗣 追封所生父希瓐為柴王生母全氏為 一師嵒本 為從官者逐 之 國 初 夏及金平初百 氽 到煽 伊喇布哈復澤 力請外至是 臣固结 吾徒須急引去 人與金 潞 F 心為本 國夫

一 网网杏夏 樞改之 進輔 東印 度 高 云元書各午異 國 日慈明一二月後 述 今兄更使好大三 洪 事 從 第 國來 二 元 一 傳 之 報聘 年 年 次 素 以 成 奉 九 十 鹿 明 孝 十一使國月月

廚資冶通鑑 光 出一百六十二 印七甲領此今以尾 下大軍在 所有 以問耶律楚村對日此名 以數國人命實無疆之 一年也今從之 一年也今從之 一年也今從之 一年也今從之 印度因角端見班師甲申乃朱嘉定十年十五年壬午秦元史太祖紀十九年四年上天惡殺遣告陛下願承天心宥門年上天惡殺遣告陛下願承天心宥能為人言曰汝君宜早回蒙古主怪之 Ç

	_ <u></u> _		
<b>養資治通鑑卷第一百六十二</b>			ACI. (21-17)
			#17

慶 宋 元子+隱声然紫帝 埋 紀 古金赐年龍勞視帽亥的建 百大下名图鳞亚赤人生太道 六 潘太正名閏鳞至赤人生太道 **E 租大封八成川炎來於祖 備** 各一百六十三 與二二成月前則屬調和十德 十年國立吳絕天比與世 大 兆起 年蒙公為之無如寤府孫 功」 皇嘉所日夜虹父 復 茂蒙 定略正漏稿樂與十 兄月 一分中未里文 烈 二墨 王 五當生盡第茶 文 月正 戌 年费三数前王 仁 凡月 二盏 朔 授寢日刻一開武 爾詔 邓人家室夕禧 聖 年柔 遠舉賢 州為中中榮三 明 防見聞五王年 安 立 良 架體戶采夢正考 使隱外爛一月皇

能加 濟 溢 重 干餘 勿傷 **竑** 身 並 EI 竑 院宣家 號 間變匿為 A LI 淮 泣 卿 稻 7 Ħ Ħ 從 水 接 曰 全不 · 釈 ・ 新 等 #! 領 導 王偽 竑 自 徘 摌 東 乃 得 來 庫 至 夜 遂 Th 其 州 黨 與 治 部 致 入 竝 以 雑 進 於 約 州 敗 其 夘 城 户。日

州濟薛 些士翁 視王氏安 下 院 改 之事通 万 東 功 天 埋艦之 赴 乏 德員 錫泉亦 獮 則 秀外 渝紀伦遠事 旨宗余祚 質入郎 見洪逼室據言奏咨竑條本竑 一百六十三 言治天錫客州 立. 變國 竑 以錫傳泰 為 疾 之 梎 **个無天** 有所本冤卒從過錫校殿 仁 禮 聞之死語致 明 起 挾代異 流先侍居 醫余齊 训 至 天東 後四名直魏湖鄒光

人中有日三然秦此亦王 司 觀王雖 舜 一為師泰漢以一為師泰漢以 爲 後耶失有事詞 討 一部伦游流数太學 論

心朝廷之于 朝者 以饋遺及 中公行蒸染 也是我有这个人,但是要我有 有 一百六十三 惡者以調言之令至於流電殺戮 惡染成風恬不知怪治世氣象欲及門為 恥受任於外者以苞苴人 如 事非 天地之 上敬銳之 必萬 家之 物栽培 間積 都 爲位之其

那言 伯成 颁 言長 獨 帝 焮 刑 願 间 處 1 廸 主 革 首 問 伯 蕃 卿 نز 縦 抓 之 德 弧 頒 使 不召問之 朝 見有 秀 言 新 此 秱 叨 慣至 進 在 中 且必 帥 朝 德廷 基能 刷 閩 用 陳宓 炉。 th 卦 所 擢 膨 何 矜 僑 無 進式

然君以 闞 多者 而君子 公田監 已 五朱 正線 碎 戮 堂 則 因 多 以 经 膹 常 小 圖 審 ーヨンナミ 初 垩 未小 多多也 **珌言** 除而 郡者 也 頸 曾 進 君置出君 君 司 家 紹 中 世 與小小初大 免 治 慶 Ц 前悉親 治 少 之 亂 宗 來 帝 世 所鳳 崩

日不其國 朝 网 敢 总忽 姚史縣勉 哩 尚賴諸 死亦當從 曲 王 牧 倪 牧 老 花 菜 工 集 太 古 卽 集太古 辰 賢 道史即河 湖

黎併定武兵 將葛 卷終著言 於告據仙 遂 極孝願胜 正之年即五世年 詔 品宗當中<u>與</u>親難之 也通凋饭 故 下以高宗為法帝嘉 7. 卷一百六十三 **鑑集殺 珠** 採史 聖 歌來 無 師 極 師 也拔盘当 天天 似三月史天天 似三月里餐子里 雷温 武勝定國 癸巳朱著王暨 嗣 恐懼修 軍 之初欽事慈寧大 學節度使鄂王二級人名 **潭擊仙**在 中 中 中 中 中 七 大 一進讀高宗寶 第二 五 何 紀異 天 二元 澤

州致書 **丧今不計生死必往見途還楚 有與南軍** 與郊垣 劉慶福 嗣 不暇矣 于國國診于巛日全 師 一競者無 亦使 國解不見妙貨慙 屬縣白私僦錢有差 戊 報 因畱青州 曲直偏坐之 全 視國意國 州温州各添教官 國 而歸 仰賴我養育我略示威 心胸賞 能 是獎其能守園陵 致乃數致厚飽邀 許 國 干損 間質質水 既視事痛抑北 國至鎭李全妻 旦負 儿 制置 閊 申 校

宴全遺勞加厚全終不樂慶福調國之幕客章夢先夢 自計日彼所爭者拜耳拜而得志吾何愛馬更折節為 因會 謝自是 資价通鑑 卷一百六十三 不相假俗耶全赤心報朝廷不 是動息必請得請必拜國喜集別出卻白事國見其細故 八多矣但恨汝非文艺 淮 師亦免汝拜汝有 馬步軍十三萬大 臣本與我等汝向以 反也國繼設盛會 何勳業一旦位我 閲楚

殿第欲收冠于國計議官荷夢玉夘之以告國國日我 悉為賊有親兵翼國登城絕而走賊摊通 會令汝為朝土潛約盱眙四軍為應皆不從慶福謀中 **教妙與畜** 及起視事忽露刃充庭國厲聲曰不得無禮矢已及一文儒不知兵者耶夢玉懼禍及復以告慶福一日 人之心楊妙真及軍校習者 慶福選楚城使為亂適潘壬事敗全黨亦不安或 安男子指謂 人日此宗室也 判姚孙 且語僚佐 內自為備

降 遺 數 届 晞 之於能大非常 等卒人意 稷 誤途發口和東 福城止中上無未之之以表全 撫 将贼授待全 發全 也 乃稷朝國 有 倪晞廷 一年七十二 死 國以書獻 不東 激爲至報久 拜制 恩 能制置 堂 置 七 是李則之 庭 下使 壓 使 以 陥 FIL 妙 非因已她 令 稷·于· 徐. 斬

月 后 幼 酉 -1 存 有 籐 4 将 或 人 文 計 FI 多言 事觉容 哲武恭孝皇 由 班 道 玉 本 城 梃 朝 儲 言 世 國 司 有 箵 重 仁 母后 於 事 米 宗 永 謀 头 萬 雏 茂 之 亦 宗 聖 廀 給 五 廟 太 犒 后 號 有 寧宗 翩 位

周 近 封 英 一 與 府 金 爲四圖置之坐右 在 安京縣 國 王 聖斷行之略無人關嗣君可日次 惟相 太后之 S 一百七十三 壬辰朱著進龍石田所 鉀 御人御札前代 御囚 聽西 政太 為母 公五子書吾年 與近河無過一位 不實 明至高宗 今後,便敬廉 后 世動 能 篇 衞 目

徂郎

凡有益切用為 資可公與為以矯者歸無自治以家第任趣激堅過 憾引 通得之宅事新以鑑期上是為忠 一風含疑 九之役之 所民以為名將

息大難寧宗皇帝晏駕濟王當繼大位 先帝 不幸 न्म 大 也 逐濟王井般皇孫而奉迎陛下過失不聞於天下史彌遠不利 死於 滴 收大權 進也 T 湖 州 然後可以固大位 揆 **研鄧若水上封** 下皆歸 秋之 法 非 斓 事 非 遠 除 弒 **日行大義然** 乎非篡乎 其立 者 姦然後 也 夜 一般腳 矣忠恕 矯 後 問

此 伯 天一答 夷之 臣 E 所 慰 鮮 信 而 海 多 型 此 污 身受 調 有 無 旣 陛 艦 行大 自 则 松 眇 舰 內 一百六十 為一體 陛 故強 下之 臣 喑默以 挾 首 者 本遵下 恩其 何忍 以 或 应 之 開 至

愈 下之意行乎其 以 戏此 飠 耳 邓 臣所 泐 目 1 亦 也 目 盛章李 未 身 7 非 臣以 則此數 狎 孝其 為 **人位然則陛了** 不 者 除 廣 如 也 此 柩 大雞李全一 相 數 與 瀚 下 謀 次 凶 非 何陛下 也 其 局當 此 肺 非 而 而 厊 也

買答 公司道》 子也 爾遠 墨 雖 嗣 厚恩 濮 经一百七十三 何 解直 側之 而不 率馬陛 I 暫無事安 惡 横抹之 爲名賴遠之 下 國 則思其次次 郑 介日誅賴遠之 站. 聽吾節 全牒彭 而 羽檄 死有餘罪 師 徒則 得則思其 知

(劉全皆 向告 致書請助討賊知 擒賊平之後收復 成但能遣兵扼淮進據速海以燈之斷其南路此 止護斌致背沿江 位專兵各享安靖之福范復以 州義斌出兵與戰全敗走獲其馬一 天誓状見者 欲親科難會全造人水雕複書 叉敗全退保山 4 一戰河 一京 制置使避善州日不 南神州可復也盱眙 激于 超范亦以 崓 三府然後義斌戰 是全自青州文東平不克 抽 山陽忠義以北楊妙 為言史 四總管 與義斌連 **誅逆全恢** 河北 肝

所惡 授贼 穪哉必将缚范 為倘則尚 叉禁其為 到台直 可卿大 直花者 淡變之 而果足舒 故 肆穿窬之 盤一名一百いた 賊 顧忌而不得以肆其姦它日必 見有護家之 日 劫 可先 國禍 )痛恶 姦而無忌然 之事 朝廷 授 而以鎮守責之 范 財而范逐為朱 生必將謂何俗 以去范先 其為傷人之 死何害哉諺日護 也 ) 既實范 狗必將指 生 辺 **之言何哉** 位他恐不 始未之信也左 斥于主 **超**范 固無調 **谿雖然使以** 家之 入將指述 而不以 ~狗盗 使 一贼見范 函

後害封章來 錄行在緊 使進 已避正殿 了了五多一名一下八十三 )封魏 、監司得 即政 **朕所樂聽事有可行虛心而從言或過直無** 魏國公別遠解免不允五, 所教罪 囚 上副狀延納之誠焉 別與問慢差遣 外文武 人則 初首 小之臣有所見問其以 四 門達聰 爾遠不答 卯太白畫 明目訪子落 依前右 解從 戏纸蛇克 · 一 金 主 Ž 甲 綠點司不 見 一路告 一以早甚 相兼

古月が代ムロヨー語 称之 斌連合義斌 亦欲藉實取河彻 不造 羅罕指伦李 月應 歲事 言曰欲求仗 利 者 金 有收 陝 絕少縱有 秋七 、兵勢大 西早甚行省完顏哈達 、民德· 流丛 ダーをいける 月壬戌將伦監張忠恕輪對 合兵攻之兵从不 節 義城不之 振途 之亦未盡忠識也忠恕 之時延安殘破哈達令於 助其耕墾 死義之臣必求犯顏敢諫之 闡 東 邻 自 平ılıj 间 ·嚴實潛 是延安之民稍復 後 盟 至 達今改齊戒請 圖之 所掠青崖之 城中食盐 遂以 Ξ / 兄禮 西路 乃與 伯

罪人 公受過之意 被災之家 限貴該言近下韶求言恐詞有過直乞賜包容帝 心心 忽自 . 所共知當 一文金一名「下ノーニ 路 言善者從之非理 知 軍杖以 不為時所容力請 乙酉行 如別公待管蔡之心又當取孟子知 日族待濟正可謂至矣行節日濟王 滁州水 詔發會子三 下釋之 大朱元寅錢 者當容納之 · 推工工 外補遂出 一千得米六百石販 部侍郎喬行 嬔 部侍郎 夘 鞀三衝蹄 州 眞

将 匪 宮庭即 易則放 惟 倘 ~ 卷一百六十三 時師 奉今宫閣野乘輿 居室密遍東朝惟 業紙 臣知聖性恬淡 一緒神別燕之 其上念替者 然 懼其容少忽乎此 剛叨弗惑未 思曲盡人子 也 固 ) 仰瞻楹 非 臣之 物頤 休수性 占 指使 )所欲獻 思 桷 一恭其敢

有疾不飲酒食肉今雖有疾不飲酒食肉是大學不可以是一個人工的一個人工作。

者則 買を写らり記録と、公一写して十三 無 改于笞 形 因 移御 明兩宫之 同 躬猶 **猶** 不 **適** 其朝 聲色不可 于牆庶幾 情常教 服 也此臣之 有時矣 敢 然 临 奉者 舌之 而無 所 岡 /母況 開今 事 欲獻者三陛下 極之 親 也食 者聽 恩丕昭純 Į; 視膳問安 則見

之禮孝養之誠當有加於前 系 了 了 〕 乎今辈臣萬物之命繫 則羣臣尚 臣思義治使 視朝以爲常度 百官則陽 不其富貴此 臣所欲獻 福宣 物片有所特 如 一昭政機 人主與天 初清明正厲精庶政之日而 **变其親者及其大** )時正 使字內宴 無壅先皇帝每旦御朝率在 大同運故必與日俱出以於縣者四又言臣稱謂古者不以為安而兩宮侍御之臣亦 兩宫惟兩宫慈孝交隆 刊 也 馬況左右使 3 以院

一時從至郎官凡幾人自監司至郡守凡幾人今其斤是治本立國威張而姦宄銷臣竊觀近事似或不然夫白一方言二詔之强果能確守初意挨求實益則人才振一大言二詔之强果能確守初意挨求實益則人才振 用之 剛奏會 而無所 有內 彩卷一百六十三 陛下水小ツスター )臣囊也 幾也陛下蓋嘗摭其一 卿 **个其所舉** 人才振而 同應 欲

意其別亦豈無決憂遠識高出袱見之表忠言至計有 理亂粗述古今不至抵觸然後取之以示吾有聽受之 固未嘗召也其所施行該賞者往往皆末節細故無**腿** 班行之 聖聽之聰者 或 持正 **峰節之臣有因論列而去** 4個未聞采納而用之也 以言 采納 語 而用之也自陛 臨 去有 能 囚自 下節御 雖 歸

·高麗與蒙古不至 聲近改為瑞州 沿通 密院事 結死士匿眞定 改為 貴多救 **又天澤出奔**東城 《卷一百六士三 敢 **認邵州係楷藩陞為實慶** 通 蒙古使 之者金主 密院事薛 中大歷寺為內應仙夜 彭義斌旣敗武仙勢盂塵 人如高麗 極參 金 内 《府筠 兄 旺嘉 此 政事葛洪 芤 州與 調

這權勢治家教子風采稟然誠近世戚畹之 臣觀古今載籍之傳莫不以恩寵太甚 倚 伏無常古今所畏坚陛下清燕之 端常請 (王齊稽諸典故所未前聞) 也 诸略公私 蹈滿盈之咎誠宗社 都王 「眞德秀 其老成

居 資治通鑑 亦言了 一德秀奏劄 德秀落 知孝途 心體改權 |諫談 秀祠 書所 翁爾遠勸帝 翁雖經追竄 、卷一百六十三 罷 詆 親日 誣詔 祠 知孝 部 、朱端常劾魏 「真德秀乃 翁落職 上書乞竄德秀以正 異論将擊之 下其章帝 人以 能 力以疾 ·翁欺世 新任 翁 史辦遠 申 追 解 猶畏

寶慶二 殿 謹獨之 虎 命超 城 7 宣帝 烟 幺 那正 補 丙戌 拠 ź 此 陸 有 -差 是 栻 齡官 者笑 年蒙 陸 鄆 古春丁 敬存心 鑓 癸 淵 と 萬 北 华 太學 賜 正 孫官 鏉 月 不愧 司津 證端憲 辰 徐 将 御 朔帝 射 九齡文 進 段 孙 對 **関**崇 输 視 政

器議論詭激者必無正平之 戊子以右正言李知孝言詔贓吏有實迹者永不得 **酉意文藝 应協心盡慮精攻切擇夫文** 重也狀屬在哀疾未遑親策爰齐近列往司衡鑑 **查台重端** 名一百七十二 五其奏濟王事乞追封以蓋逆狀趣立嗣刑獄以五月茶部理囚徒 梁成大言真 過貢舉屢降御筆當時稱常為文章天 取士試于 南宫蓋公卿大夫由此其 用去取之際其務潛 解浮靡者必非偉厚 梁成大言與德秀有 Ē

定與陸 旋定 民反覆驅萬 納台首作公 大奏寢 将 訕 委去不 7 追舉夢 並俊 4 職 个幸被有般之天 能 長精 将 乃銳 胡銓成 合攻武 召 數百 命 仙 魏 授 灞 父史天 中日是 仙走 罪乃釋之 行 韶 皆吾民我 削 同罪 秩 山陸納 天

倦效忠淡 封章 納之志 懇 所 介 鑑べ卷一百六十三 之 欽 可嘉 **业者始見**% 州編管 官有求 辛未喬 身處 加省覽亦已揀擇 尚 可特與壓糧差遣以 川蜀萬里之 普安軍推官羅 非獨 為郡者 簡 進 調高宗寶 깶 器亦必為民害行 外 施 刀能 如調蓮 勘來者以副 所過 獨先眾人的陳利病解 王 等徙 言之 為監不

**鵞以導敢言乃** 繪組 **便**殿詳覽 人提舉 密堂容不守 邸安府 疾抗軍 學 博 、贓賞 朕志也先是海以 晐經 至遂以 因 歎 錢 、訪問議論 理屯 可特與改合 心秘書即 是龍之 召第以 楊 戊寅韶 田有緒 筋為敷文 昭勳崇德為名 正 ·詔獎之 內 斨 归朕 祠奉 人 雨 調 大 近 閣直學 證 朝請 寺建 除館 明切有鼠 召游洚 刑 司幹辦 仍進 職 理寺 中 旌 忠

未有注授者 以莫澤言令二廣諸司今後 臣俸薄令戶部條奏遂有是 詔大理寺三衙院安府 卷一百六十三 日英文皇帝 以如災 管理用力 是春 進請給

[ ] 〈請述正 视 赤 卿 NI) 刑寺 鄉 忿 F 钣 逝 Ħ 非 因 名 言請令 此 一罪追奪 帅 分 隆 例國法 灘 訓 抓 法耳卯 工商 庚 之 是 肷 始 知孝. 者 寅李 所 爲

身 京鴻慶宮 丙中賜 神御蝦室 绿行 士寅以先聖五十二代孫孔前春襲封衍聖公中賜禮部進士王自龍等九百九十八人及第鴻慶宮光是召伯成以疾抗章不至遂以是龍 在紫 七月戊辰大戶七月戊辰大戶 一卷一百六十三 肵 陳 囚 陛下 蒙 未以 與. 古主進 沼釋 何 们 口成為龍圖閣學士是與門推 癸未令萬壽親世 暑 理寺 此 于 生寺三衙 川野山/ 意上 風 可畏皆 通 兩 取夏甘 浙 땄

金 夏 府 金 喇布 平 柳 図 章政事英 組 河 攸 旺驚 稻 陳基善族當記 羅 滿舊 岘 已穫 臣 **个移** 兵事 已略具败陳 悸 縣 國公香鼎 尚書 遙 晚稻未花 而 脈 车 殷 加修省 薨 四 欲乞 及晉安 至黄 又幸不 是 月蒙古 比 河九 以害 Ü 使 獻 朝 渡 思 収 稼 肵 應 议 爲

馬蹴其獨者有罰入君門則鑑見君之 資質台題艦人於一百六十三 爲者當是時心 可者獻其可言有不從雖引裾折 小俟駕而行受命不 、臣有事君之禮有事君之義禮不敢齒君之 然國家之 生分章析句但知為國 同道與亂同事有言並于汝心有言遊 皆本于正心誠意敷釋詳明 一器耳君曰可而有否者獻其否 )利害生民 足矣因卑 彭 

陵縣公房州安置比濟 爾遠患八言不已思有以折抑之 美以 雨竭大 縣受租苛取之禁轉運使察其違者勃之 風瘁及愈金主問愈之方對 國家何賴馬金主變色日非鄉朕不聞此言雲翼 金主獎然知其以醫頭也 國 死也始欲治葬於西山寺後逐葉葬西溪 , 理寺三衙鸱安府點檢提領 酒所贓賞錢 ATI Z 亦然人君先正其。此則朝廷百官莫不 凶惡羣臣就請行法遂勒歸私第季降 4 日但沿心耳心和則 乙巳上言日 士辰仓 Ξ 戶部申 甲午 嚴 邪 史

**德參之公論揆之** 資治通鑑<br />
一百六十mi 一追降 涇薨 一臣等切詳 陵縣 執張 為評事從陳貴設請 琳送 yp 國法死有 公庶幾上全 部新中 一帝教育之 大恩 仁思 罪臣等詳議審處請 郡王 軍国之全 也 而資淺者 怂 下伸公議從 Ę 降電資今 須外應 申

工部侍郎兼崇政殿說書鄭清之全語靑福還楚攻異韓氏通鑑繁 /嫉宦官态橫事清之因言西漢士 **主不專與婦寺相處帝曰朕觀成周之** 規也歎談久之 使 支也全 人君目見正 尚有成周遺意使 歸提兵赴 徐晞稷罷以 則 耳聞正 城 論 制宫中 君得親 **豫** 四六 得出入禁 所以為進 一路全日 通鑑 倳 漢

李士待制 丙申詔中外繫囚杖以下釋了 一學士待制 丙申詔中外繫囚杖以下釋了 一學士待制 丙申詔中外繫囚杖以下釋了 一次忍印氣速獲晴霽·壬亭 一次召和氣速獲晴霽·壬亭 嗣承古内 一百六十三 承大統實 · 王寅復詔大理寺三五以惠及下民者夏議行一二 州戊宰 辰始 刑狱職 之章 衙蹄 幾流雷

躯 以示嘉 <del>化</del> 自 以 際、 以鎮江 獎所 到蓝 部 何 比 埠 為 潘 進 標 天 進 首 下 皇 疏 國家.戊 所奏 不能 全是 **淡本** 在 制取 畏其 盱 朕心 胎 患

為無事與滅人皆軍又全義初 将 行與限示與軍至屯 好多太案 治與 謀心女 卷一百六十 原 日今所用至白不懼 逐動玉割乃帛 言 將 將 略載率是所數 勢 三軍軍之事全革的日不哥亚非時到雷領格谷 車置 三逢酒 戈死奶山 傳全以五置 園 数 差 基 凜 吾夏東李張仟季復 全歸 全株制人方就 許 附 巴等瓜來南 治耐太 諾 耶 死 府資先北人 尉安妙狐全庫其是軍謀 有能與死妻且軍李巴馬 就 官 民如望自 盛强揚出以全相齊致 歸即 舍 立節悲妙梅制欲疑語異 便出李贞 轉領 令李毅適調齊 此 迎 氏 使北全夏忠阜東

姚之封即金薛狼 趣 大 遂 多 而 藏 自 死 旷 笑 翀 耳四宋史氏 狼 焚器夜取 刚宋人資正通 降 盼 夏 辭以爲慶大鑑 於 欲 全 半货 琸 甲 使姚王二三聚金 為 旣 步 錢 琸 物 到那亦年年於金亂逐至栗 維時 华代有是十二封 盱 琸 揚 悉 城 琸 未到外伦一年全 眙 暮 州 為 僅精 敗璋誤十月十二萬 將 歸 俗 免兵 賊 有鎮尚 何而不一己一金 張 妙 兵 以宋如月山月源惠复自張江 蔣 建史從有夏徐郡 范 衞正軍 拒 猶忠 易本傳統全氏王 成 之 與 以紀余誤自後韓冢 進 全 劄 不城束 排於開也签編之黑 閉 恐 揚 從 戰 不 賊死能 乎三此嚴州從敗宋 城 其 州 經者發 是年金道來傳在史 門 图 造 旗妻大 到正史甫歸伦三李 全 也 膱 因 半 月牽關封三年全 不 之已建金都年二傳得 大 聞 於 太 将 書史王案月到,入 掠者

威本在 同ないられる世紀 明令 寶 康強頤養 庐 州 屢 有 、败召陜 清之 川 司 豹 詳 名明 具儀 经一百二十三 旋 講 畢 勝 德 改伦今除 癸未 此所 小詔皇 月 州 親 成 總 所言 孪 韶完 類 渝 額 省 明 爾 且 金 殿 人太 倘 問

親大至非唐祖之 理章案慶二 降蒙 未之世哩蒙 總改針散了

慰以省 金 之 大 主聞之魁 近 金主 小理 鑑《卷一百六十二 立今魁以功以波方 緊獄議 妻訟彝 能 城獄 決繋 名汝猝 國兄日 者 白 家故有未久 疑 季 私 私 私 私 私 私 私 私 私 私 私 之 決 海海大型、海海大型、海海市市市大型、海海市市市大型、海海大型、 領紫微 禁 下必有人 之金必殺矣主横其 矣主 是 态 八 炭 其 府 訴

		الطفيفي	-	-	بربسالا			-
<b>資資治通鑑卷第一百六十三</b>			-					_
治通								
鑑金						į		
第							<b>,</b>	
百					;			,
六十						1		
三							·. I	
								1
								•
								•
					,			!
	£ 5	*	(					•